

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 050	提案機関名 公益財団法人 相模湾水産振興事業団
要望問題名 今後の種苗放流等について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ 当事業団は、水産資源の維持拡大、沿岸漁業者の経営安定を図るため、葉山町から湯河原町地先に、サザエ・アワビ・ハマグリ・トコブシ・マダイ・ヒラメ・カサゴ・メバル・マコガレイ等の種苗放流を実施している。 ○ 現在、種苗の種類、放流場所・時期は、各組合の要望により実施している。 ○ 相模湾の漁場環境等に照らして、種苗種類毎の放流場所・時期・大きさ等の調査、指導並びに放流後の育成、分布等、調査を要望する。 ○ 相模湾に適し、放流効果が期待できる新しい種苗の開発について要望する。 ○ また、ここ数年水産技術センターのサザエ種苗の生産減により各組合の要望に応えられていないのが現状であり、今後、サザエ種苗の安定供給の技術開発及び調査・研究を要望する。	
解決希望年限	① 1年以内 ② 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 4～5年以内 ④ 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	① 農業技術センター ② 畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③ 水産技術センター ④ 自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。（提案者は記載不要）

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部
対応区分	① 実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② 実施中 ③ 継続検討 ④ 実施済 ⑤ 調査指導対応 ⑥ 現地対応 ⑦ 実施不可		
試験研究課題名	①、②、④の場合 新栽培対象種の放流技術開発研究、サザエ不調対策研究		
対応の内容等	○ マダイ、ヒラメ、トラフグ、カサゴ、サザエ、アワビといった魚種を対象に、柴、安浦、松輪、城ヶ島、三崎、長井、大楠、小田原の各市場において水揚物の調査を行い、放流効果を検証しております。効果的な栽培漁業の推進にこうした調査データを活かしてまいります。 ○ 新しい種苗の開発として、カサゴとトラフグの標識放流や放流後の追跡調査を実施しており、適切な放流場所、放流尾数、放流方法について検討しております。こうした研究で得られた知見は、随時情報提供してまいります。 ○ サザエ種苗生産の不調については、当センターとしても最重要課題と位置付けています。令和2年度から、①付着する珪藻を培養管理した波板の使用、②波板に付着させる適正な幼生数の検討、③配合飼料への早期の餌付けを目的とした飼育方法の検討などを解決策として取り組みました。その結果、令和3年度には従来の生産量の回復の兆しが見えてきました。今後も安定的な生産に向けて努力してまいります。 ○ 次期栽培基本計画における新しい対象魚種については、藤沢市漁協で放流実績のあるチョウセンハマグリを候補として挙げました。		
解決予定年限	① 1年以内 ② 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 4～5年以内 ④ 5～10年以内		
備考			